

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営			
1. 理念と共有			
1 ○地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	ホームの理念を念頭に置き、入居者の方が出来ることとしたいことを見極めながら ゆっくり ゆったり 楽しく出来るように見守りをしている。	○	地域の一員と認めていただくために、行事などの予定があればお知らせしていただくことになっている。
2 ○理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	各ユニットのリビングに掲示し 常に確認認識できるようにしている	○	各個人のペースに合わせた生活が出来るように、言葉かけと生活の中でのお手伝いを心がけていきたい。
3 ○家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえるよう取り組んでいる	買い物・公園への散歩などを通じて、近隣の方々とふれ合い話が出来るように努めている。運営推進会議の際、口頭でお話をした。	○	家族の方々とほゆっくり話し合いをする機会がないため、今後も検討事項と考える。
2. 地域との支えあい			
4 ○隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄ってもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	公園での子供たちとの語らい・散歩中の方との立ち話・犬の散歩中の方との触れあい等を通じてグループホームの入居者として認識していただけるように努めている。	○	運営推進会議や自治会の方々からの意見を伺いながら、グループホームの存在を地域の皆様に知っていただくように努めていきたい。
5 ○地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	行事の予定があれば、回覧板・パンフレットがあればポストに入れていただくことを了承してもらっている。	○	公園の清掃・ゴミ捨て場の掃除等への参加を提案したが、無理をしなくてもいいとのお返事をいただいたため 散歩の時にゴミを拾うなどの方法で参加していく。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6 ○事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	高齢者・要介護者を家族に持つ方々からの相談に乗っている。散歩などの外出時にも、どんな施設があるのか？遠方の両親を引き取りたいが？などの相談に乗っている。	○	気軽に介護についての相談が出来るように、窓口になればと考えている。具体的な広報活動はまだしていない。
7 運営者、管理者、職員は、自己評価及び第三者評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	第三者評価の意義は分かるが、評価を具体的に生かせていない。	○	今後具体的な改善に向けて努力していきたい。
8 ○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	自治会の代表の方・民生委員の方の参加をいただき、ホームの現状を報告させていただいた。地域包括支援センター職員の方の参加は次回に約束いただいている。	○	地域の方がどのようにホームを認識されているのか、またいろいろな助言や要求を聞くことが出来た。参加していただける家族の協力が無いことが課題となっている。(次回は一人の予定)
9 事業所は、市町担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	運営推進委員会への地域包括支援センター職員の参加は次回からであり、行政担当者の行き来もまだ無い。	○	区役所とも交流の場面があれば参加していきたい。
10 ○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	研修に参加したスタッフから、全員へ伝えることが出来ない。	○	定期的に勉強会をもち、全員で知識を共有できるように努めていきたい。
11 ○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	研修に参加したスタッフと共に、ミーティングの機会に虐待か否かの場面について話し合うことが多い。食事時間・休憩時間なども利用して検討している。	○	定期的に勉強会を持ち、全員で知識を共有できるようにつとめていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制				
12	契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	入居時の契約を結ぶ際、説明をしているつもりが理解できていないこともあり、説明し直すこともある。	○	理解を得ることが難しいこともあり、同じ説明でも繰り返し行い 納得していただくように、努めていきたい。
13	○運営に関する利用者意見の反映 利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	直接意見を言いたい状況の可能性があるので、ホーム玄関に意見箱を設置している。	○	事務所のドアを開放し、いつでも話を聴くことが出来るようにこころがけている。意見箱に投書しやすい様な工夫・投書への対応はまだ確立されていない。
14	○家族等への報告 事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	面会時には、日常生活の報告やご相談をし ご家族の意向を伺う等心がけているが、夜間のみしか面会に来られない方やお会いすることが出来ない方へは電話をかけるなどで報告している。	○	手紙など(ホーム便り)を検討していきたい。
15	○運営に関する家族等意見の反映 家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	家族会はないが、ご家族の訪問の際には本人を交えてまた本人抜きでの話し合いを持ったり…と努力している。	○	年間行事の際、又 運営推進会議の場を利用してなど広く意見を聞く様にしていく
16	○運営に関する職員意見の反映 運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	職員が 日常の業務の中で気がついたことや改善してほしいことがあれば、ミーティングの議題として話し合うことになっている。	○	今後も意見の言える場を大事にしていく。
17	利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている	早出・遅出など勤務時間の検討もしているが、現状では不都合を感じない。今後、要望があれば随時対応していく予定である。	○	現在 有償ボランティアの学生の協力を得ており、今後も福祉体験のかたなども受け入れていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)	
18	○職員の異動等による影響への配慮	職員の離職は出来るだけ避けたいが、やむを得ない場合も多く 入居者の方々への挨拶はきちんとするようにしている。	○	一度に多くの退職者がでることがないように、日頃からスタッフ間の関係に気を配っている。
5. 人材の育成と支援				
19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	研修参加を勧めたり 情報があれば提供するようにしている。	○	今後も研修への参加を勧める。
20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	他のグループホームの見学をさせてもらったり、運営推進会議に参加させていただいたりしているがスタッフ全員ではない。	○	スタッフ全員他の業者とも関わりが持てるような取り組みがないか 模索中である。
21	○職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	明るい職場づくり・休日の確保・年2～3回の慰労会を開催するなど、職員が楽しく仕事出来るように努力している。	○	今後も続けていきたい。
22	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	次の資格を得るため、スキルアップできるように勧めている。研修の情報は全員に開示している。	○	仕事への意欲をもてるように、又 知識も得ることが出来る場面があれば積極的に参加・経験させていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅱ.安心と信頼に向けた関係づくりと支援			
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応			
23	○初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学・入居相談・入居希望書の提出日より、ご家族・ご本人と話し合うようにしている。相談しやすい雰囲気作りに心がけている。	○ 今後も心がけていきたい。
24	○初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	見学・入居相談・入居希望書の提出日より、ご家族・ご本人と話し合うようにしている。相談しやすい雰囲気作りに心がけている。	○ 今後も心がけていきたい。
25	○初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	見学・入居相談・入居希望書の提出日より、ご家族・ご本人と話し合うようにしている。話の内容によって、近隣のえがおの窓口を紹介したり電話で相談に乗ってもらうなど、相談者の方によりよい方法を一緒に考えるように努めている。	○ サービスを上手く使えるような必要な助言が出来るように、各社会資源を又制度を学んでいきたい。
26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気に徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居時の契約を結ぶ際、気がすまない方のため(ご本人の場合)ショートの2週間程度の試験的期間を設けている。	○ お試し期間については、言葉での説明のみで文章化をしていないため 今後に向けて明確化する必要がある。
27	○利用者と共に過ごし支えあう関係 職員は、利用者を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、利用者から学んだり、支えあう関係を築いている	利用者の方々と、毎日一緒に過ごすことにより家族以上の信頼を得ているように感じることもある。家族以上でも以下でもなく同じ立場で支えあえるようにつとめている。やりたいこと・欲しいことを一緒にするようにとりくんでいる。	○ 利用者の方々から学んだことを生かせるように努めていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
28 ○利用者を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に利用者を支えていく関係を築いている	居室はご本人の生活スペースであり、ご本人の自宅であるため 居室の中の環境整備・衣替え・模様替えなどはご家族の協力をお願いしている。訪問は時間の制限などもなく、常識ある時間帯なら自由で 外出・外泊もむしろ積極的に勧めている。	○	今後も心がけていきたい。
29 ○利用者や家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの利用者や家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居時に家族関係他の情報収集をしているが、不十分なところは徐々に情報を得ることが出来るように努めている。	○	今後も心がけていきたい。
30 ○馴染みの人や場との関係継続の支援 利用者がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	近くに住居のある方は、ドライブがてら自宅・利用していたスーパーなどに立ち寄るなどしている。遠方の方は、ご家族の協力を呼びかけ お墓参りや食事会などを勧めている。	○	認知症の進行・高齢化による身体機能の低下のため、今後 より外出が制限されてくると考えられる。ご家族のかたのご協力を得て外出の機会を持てるように支援していきたい。
31 ○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	食事時間以外もリビングに集まっていることが多く、談笑したり(職員が間に入って)トランプをしたり…と関わりを持つことが多い。ユニットによってはほとんどの方が居室を好まれるが、気の合う入居者同士は常に居室を行き来している。	○	その人なりに過ごすことが出来るように、自然に仲良くでき協力し合えるように、見守りながら支援していきたい。
32 ○関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	退所後も電話などにて相談があれば、出来るだけ対応するようにしている。	○	今後も心がけていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント			
1. 一人ひとりの把握			
33	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	出来るだけ本人の意向に沿うよう心がけているが、利用者本人よりご家族の意向に沿う場合が多い。	○ ご本人の意向が把握しにくく、安易にご家族との話し合いで決定していることを反省し 本人の意思確認を優先していきたい。
34	○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	入居時に情報収集したことを踏まえて、スタッフ全員が共有している。記録のための時間・食事時間を利用し、ミニカンファレンス的に行っている。	○ 得た情報をスタッフ間で確認しながら支援していきたい。
35	○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	毎日の生活の中で健康状態・精神状態に気を付けながら支援している。	○ 今後も心がけていきたい。
2. より良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し			
36	○チームでつくる利用者本位の介護計画 利用者がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	サービス提供者の意向が反映されたケアプランになりがちである。各関係者との話し合いに欠けている。	○ スタッフ間・ご家族・利用者本人すべて話し合う機会が少なく、不十分な計画であったため 今後は、利用者本意のケアプランの作成に取り組んでいきたい。
37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、利用者、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	定期的に行うことは努力しているが、その際もご家族への説明が出来ていない。	○ 新たな計画作成をした場合口頭での説明だけでなく、ご家族への書面での連絡を速やかにするように努めたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38 ○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	個別記録に毎日の様子を記録している。情報の共有はできているが、アセスメントを含めた記録内容に欠けている。要望があればご家族への開示もしている。	○	今後も心がけていきたい。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援			
39 ○事業所の多機能性を活かした支援 利用者や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	医療面では協力体制が整っているが、いろいろな行事を行うには狭く 全員が一堂に集うことが難しい現状のため、課題が多い。	○	フリースペースもなく、限られた中でどのように楽しみを見つけていただくか思案している。
4. より良く暮らし続けるための地域資源との協働			
40 ○地域資源との協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	福祉学校の学生さん・高校生の体験学習・有償ボランティアの受け入れをしている。近隣の方も必要なら声をかけてくれれば手芸の講習もしてくださる…と約束している。	○	今後も地域の方々・教会の方々・学生ボランティアとの関わりを持っていきたい。
41 ○他のサービスの活用支援 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	状態が悪化し、常に医療が必要になった場合(酸素吸入の24時間吸入)には 入院後、やむなく老人保健施設へ紹介をおこなった。	○	他のサービス機関を知り、良い関係が持てるように努めていきたい。
42 ○地域包括支援センターとの協働 利用者や家族等の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	出来ていない。	○	今後、運営推進会議を通して相談していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
43 ○かかりつけ医の受診支援 利用者や家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	週1回の往診を通して、利用者の症状の把握と適切な時期の受診・治療を確保している。	○	夜間の救急体制については、かかりつけ医の指示があれば 救急車の利用になることも家族には説明している。今後も信頼関係を保っていきたい。
44 ○認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	神経内科・精神科への受診が必要と内科医の指示があれば、又ホームで必要と判断した場合は ご家族の了解のもとで受診していただいている。	○	今後も支援していきたい。受診は問題ないと思われるが、入院の際の協力病院を考えていく必要がある。
45 ○看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	ホームの看護職にはその都度相談し指示を仰いでいる。往診に来ていただく看護師にも遠慮無く電話でも相談できる関係を確立できている。	○	これからも良い関係を維持していきたい。
46 ○早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された場合、可能な限り巡回する様にし 家族との連絡も欠かさない。出来るだけ早期に退院できるように支援している。	○	今後も続けていきたい。
47 ○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から利用者や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	ターミナルの時期を迎えた場合、いつの時期になれば病院に搬送するか…適宜ご家族の方と話し合うようにしている。	○	ご家族の意向は最期までホームで…と希望をされているが、出来ることとそうでないことを説明し、理解を得るように努めていく。施設の構造上 寝たきりの状態になれば出来ないケアもあることを理解していただくように努めていく。
48 ○重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	ホームとしての方針が出来ているわけではないが、往診時・ミニカンファレンス時 時期について相談している。	○	ホームとして何処までのケアが出来るのか…見極めていく必要があり、スタッフの勉強会を通してレベルアップしていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
49	利用者が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	老健施設への転居の際、又入院の際にもサマリーを提供している。入居の際にも、ケアを受けていた事業所より情報提供書をもたらしている。	○	今後も継続していきたい。
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
1. その人らしい暮らしの支援				
(1)一人ひとりの尊重				
50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	個人記録は個別に保管しており、個人情報を守られている。利用者を傷つけるような言葉かけは行わないように努めている。	○	利用者のプライドを傷つけないように言葉かけには十分配慮していきたい。
51	○利用者の希望の表出や自己決定の支援 利用者が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている	言葉を上手く表現できないかたの話を引き出せるように、ゆっくりゆったりと対応する用に努めている。	○	今後も続けていきたい。
52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	利用者のペースで生活できるように努めているが、時間に追われ介護者の都合に任せたケアになることもある。	○	各個人のペースで生活出来るように支援していきたい。
(2)その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援				
53	○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている	近くの美容院・理髪店へ電話予約の上、車椅子を利用したり 介助歩行でお連れしている。昔から馴染みの店に行きたいとの要望に対しては、車で送迎したり ご家族の協力を得たりしている。	○	今後も出来るだけ要望に添うようにしていきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
54 ○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	食事の用意の際、食器を並べていただいたり 配膳・洗い物をしていただくなど、参加してもらっている。	○	ほとんどの入居者が何かに参加できるように、見守りをして協力してもらえるように支援していきたい。
55 ○利用者の嗜好の支援 利用者が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのものを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している	飲酒・喫煙も自由で、決まった場所で喫煙されている。おやつも、意見を聞きながら 考えて提供している。	○	火災事故に留意し今後も支援していく。
56 ○気持ちよい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	時間的にトイレ誘導を行い、オムツの使用を減らす努力をしている。	○	今後、ADL低下が予想されるが 出来るだけ現状維持に努めていきたい。
57 ○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	当日の朝 入浴希望される方を含め出来るだけ希望に添うように努めている。不公平感を無くするため、又週間予定を理解する意味で入浴日はきめている。ただ、あくまで柔軟に対応できている。	○	今後も継続していきたい。
58 ○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	個人個人の生活リズムで 睡眠・休息がとれている。定期的にシーツ交換も一緒におこなっている。	○	これからも続けていきたい。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援			
59 ○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買い物・散歩・洗濯物をたたむ・共用部分の掃除等を一緒に行うことで気分転換をしていただいている。毎日のラジオ体操への参加は 楽しんでおこなっている。	○	毎日継続していく予定である。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
60	○お金の所持や使うことの支援 職員は、利用者がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	ほとんどの入居者が小銭程度は自分で管理している。ご家族の希望があり、本人の管理能力に問題がある方はホームにてお預かりをし買い物の時にお渡しをするようにしている。	○	今後も継続していきたい。
61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	毎日、誰かが外出できるように 外出表をつくって確認しながら支援している。(買い物の付き添いや公園への散歩・ドライブなど)	○	今後も継続していきたい。
62	○普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	家族の方と食事・旅行など出かけられている。	○	今後もご家族の方の協力を得ていきたい。
63	○電話や手紙の支援 家族や大切な人に利用者自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	公衆電話がないため、ホームの電話を利用いただき連絡をしていただいている。携帯電話を持っている方も4名おられる。手紙をポストに投函したり、切手を購入するなどの支援をしている。	○	今後も継続していきたい。
64	○家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、利用者の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	常識のある時間帯なら、訪問はいつでも自由であり居室でゆっくりすごしてもらっている。職員と一緒にお茶を飲むこともある。	○	今後も継続していきたい。
(4)安心と安全を支える支援				
65	運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束は行わないようにしている。	○	今後も周知を徹底したい。勉強会も行う必要がある。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
66 ○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	建物が公道に面していることもあり、又 外出すると帰る事が出来ない方が多いため、施錠している。居室のドアにも本人と家族の方が希望すれば、鍵を付けている(取られ妄想の方や徘徊の方への苦情のため)	○	現状では、理解をいただいている。玄関の鍵はともかく、居室の鍵については入居者の安心感につながっている。
67 ○利用者の安全確認 利用者のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	所在を確認しながら 見守りをしている。夜間も入居者の同意の上で巡回のため居室を見回って確認している。	○	今後も継続していきたい。
68 ○注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	危険だと判断した物については、ご家族と相談した上で持って帰っていただく・代替え物をお願いしている。	○	今後もつづけていきたい。
69 ○事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎日生活していると異常かそうでないかの判断が出来るはず…と意識をして注意深く観察することを心がけている。外出時の見守りには特に神経をつかっている。	○	事故防止については、毎日の申し送り時間を利用して 繰り返し確認している。今後も継続していきたい。
70 ○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	訓練はしていないが、手順は口頭で繰り返し指導確認している。又その都度、電話連絡し指示をすることになっている。	○	分からないこと・知りたいことがあれば、食事時間を利用し話し合うなどミニ勉強会を持って行きたい。
71 ○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日頃より地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を徹底したい。	○	年2回の消防訓練では不十分なため、毎月避難方法を考える話し合いを行って行きたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
72 ○リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にしたい対応策を話し合っている	入居時には、ホームの構造上転倒骨折の可能性があること・自由に外出できないことによりストレスが大きいこと・など説明の上ご家族の協力を説明している。十分理解を得ているとはいえないが、努力している。	○	今後も継続していきたい。
(5)その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援			
73 ○体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気づいた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	異常の早期発見に努め、異常を感じたときには 看護師に報告の上、病院へ連絡し指示を仰ぐ。早期に対応を心がける。	○	今後も継続していきたい。
74 ○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	看護師により服薬管理を行い、個人個人の処方箋を確認できる場所に設置している。スタッフ全員が把握するよう努めている。	○	今後も継続していきたい。
75 ○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	十分な水分摂取を勧め、適度な運動・繊維質の食べ物や乳製品の摂取をすすめる。便秘のため不快症状を訴える方には、医師の指示により緩下剤を服用していただいている。	○	今後も続けていきたい。
76 ○口腔内の清潔保持 口の中の汚れやにおいが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	食後の口腔ケアの努め、週1回 歯科医の往診を受けている(必要な方・希望する方)	○	今後も続けていきたい。
77 ○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	糖尿病と診断された方には、主食・副食ともに量をへらすことで 一日のカロリーをコントロールするよう努めている。正確なカロリー計算はしていない。水分摂取については、声かけをして常に促している。	○	職員の中で 栄養士の資格者がいるため、助言を得ていきたい。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
78	○感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している (インフルエンザ、疥癬、肺炎、MRSA、ノロウイルス等)	感染症マニュアルをもとに実行している。	○	定期的にマニュアルの見直しをしていきたい。
79	○食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	毎日、夜勤の時調理器具をハイターで消毒している。常に食中毒予防に留意している	○	今後も気をつけていきたい。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1)居心地のよい環境づくり				
80	○安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	玄関のプランターの花・下駄箱の上の手作りの船の置物等で癒しを感じてもらおう。	○	五階建ての建物の構造上、いろいろな不都合もあるが 検討の上改善できることは改善に向けて話し合いをしていきたい。
81	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間 (玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等) は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	カーテンなどを利用し、目隠しをしている。階段の踊り場などに造花を飾る・椅子を置いてくつろぐ場所を提供するなど心がけている。	○	限りある共用部分の利用方法を今後も工夫していきたい。
82	○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	季節事にその時期にあった折り紙をしていただき、エレベーターや廊下に展示してある。踊り場の椅子に腰掛けたり、数人で雑談する姿が見受けられる。	○	今後も継続していきたい。

項 目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	○印 (取り組んで いきたい項目)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83 ○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、利用者や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みものを活かして、居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅にある今まで使用していた家具など、馴染みの物をそのままもちこんでいただくように お願いしている。	○	今後もお願いしていきたい。
84 ○換気・空調の配慮 気になるにおいや空気よどみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	クーラーを上手く利用し、快適な温度を保つように努め 定期的に窓を開けて換気を促している。	○	今後も続けていきたい。
(2)本人の力の発揮と安全を支える環境づくり			
85 ○身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手摺りがないところもあり、風呂場への移動時にも 段差もあるため、十分気をつけながら、生活リハビリの場として利用している。	○	危険防止に十分配慮して、見守ってきたい。
86 ○わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	作業も介護者とともにいき、数人で仲間意識を確立できれば、混乱しないで生活していけると考えられる。	○	今後も続けていきたい。
87 ○建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	ベランダには洗濯物を干す程度の場所のみのため、活用できていない。	○	庭もなく、プランターを利用している園芸程度だが、今後も協力していただける方には 朝夕の水やりをお願いする。

V. サービスの成果に関する項目		
項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者の <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいの <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいの <input type="radio"/> ④ほとんど掴んでいない
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	<input type="radio"/> ①毎日ある <input type="radio"/> ②数日に1回程度ある <input type="radio"/> ③たまにある <input type="radio"/> ④ほとんどない
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
91	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
94	利用者は、その時々状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族と <input type="radio"/> ②家族の2/3くらいと <input type="radio"/> ③家族の1/3くらいと <input type="radio"/> ④ほとんどできていない
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	<input type="radio"/> ①ほぼ毎日のように <input type="radio"/> ②数日に1回程度 <input type="radio"/> ③たまに <input type="radio"/> ④ほとんどない

項 目		取 り 組 み の 成 果 (該当する箇所の番号の前に○印をつけてください)
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	<input type="radio"/> ①大いに増えている <input type="radio"/> ②少しずつ増えている <input type="radio"/> ③あまり増えていない <input type="radio"/> ④全くいない
98	職員は、活き活きと働けている	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての職員が <input type="radio"/> ②職員の2/3くらいが <input type="radio"/> ③職員の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての利用者が <input type="radio"/> ②利用者の2/3くらいが <input type="radio"/> ③利用者の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどいない
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	<input type="radio"/> ①ほぼ全ての家族等が <input type="radio"/> ②家族等の2/3くらいが <input type="radio"/> ③家族等の1/3くらいが <input type="radio"/> ④ほとんどできていない

【特に力を入れている点・アピールしたい点】
 (この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

5階建てのマンションの2階と3階で1ユニット・4階と5階で1ユニット 計2ユニットのグループホームです。ハード面では十分とは言えませんが、介護者は選り抜かれた人材で 優しくしっかりとした介護観を持って働いています。ホームでの生活をゆったり 楽しく過ごしていただけるように支援していきます。ご家族の方々の協力のもと一緒にご本人のニーズに近づくことが出来るように支援していきたいと考えています。